

令和元（平成 31）年度

事業報告及び法人会計決算（計算書類及び財産目録）



社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

目 次

①令和元（平成 31）年度 事業報告	1 頁
②令和元（平成 31）年度事業 報告附属明細書	28 頁

令和元（平成 31）年度計算関係書類及び事業等区分一覧表

①	〃	資金収支計算書（第 1 号の 1 様式）	29 頁
②	〃	資金収支内訳表（第 1 号の 2 様式）	33 頁
③	〃	法人拠点区分資金収支明細書（別紙 3（⑩））	37 頁
④	〃	事業活動計算書（第 2 号の 1 様式）	40 頁
⑤	〃	事業活動内訳表（第 2 号の 2 様式）	44 頁
⑥	〃	法人拠点区分事業活動明細書（別紙 3（⑪））	48 頁
⑦	〃	貸借対照表（第 3 号の 1 様式）	51 頁
⑧	〃	貸借対照表内訳表（第 3 号の 2 様式）	52 頁
⑨	〃	財産目録（別紙 4）	53 頁
⑩	〃	財務諸表に対する注記（法人会計）	54 頁
⑪	〃	監査報告書	56 頁

平成31年度 事業報告（概要）

社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

人口減少、少子高齢化、単身世帯の増加、地域の繋がりの希薄化など、社会情勢が大きく変化し、育児、介護、障害、貧困などが複合化した課題を抱える世帯などに対する、総合的な相談や生活支援体制の構築が求められています。

本会では、生活支援体制整備事業で、市内を3圏域に分け第2層推進会議を開催して生活支援の取組み、健康・福祉地域推進事業、高齢者の閉じこもり予防等の事業を活用して地域へ向き、地域ニーズの収集や課題解決に向けた取り組みを行いました。また、総合的な相談を受け、各種制度サービスへつながり権利擁護等を行った他、第2期四万十市地域福祉活動計画が最終年度を迎えたことから、市民アンケート、市内12地区での座談会、運営協議会を市と協働で実施して、第3期四万十市地域福祉計画「誰もが安心して暮らせる笑顔あふれる四万十市」を基本理念とし策定しました。

その他の事業では、各種団体事務を行った他、民間が参入しない訪問入浴事業については、利用者数が毎年低迷し経営状況は一層厳しい状況となっております。

また、令和2年3月4日から新型コロナウイルスの影響により、高齢者はつらつたサービスやまちなかサロンの事業等が休止した他、3月25日から緊急小口資金（特例貸付）制度が創設され、貸付相談等の対応に追われました。

法人運営に関しては、自主財源が乏しく四万十市からの補助金で運営しており、極めて厳しいものの公共性の高い社会福祉法人として、社会福祉法を遵守しながら、住民に頼られる社会福祉協議会を目指すための運営を行いました。

以下、令和元年度の各事業等の状況について重点目標に沿って報告します。

重点目標

- ①地域福祉の推進とボランティア活動の充実
- ②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進
- ③在宅福祉サービスの充実
- ④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

中村地域配食サービス事業 (共同募金事業サービス区分)

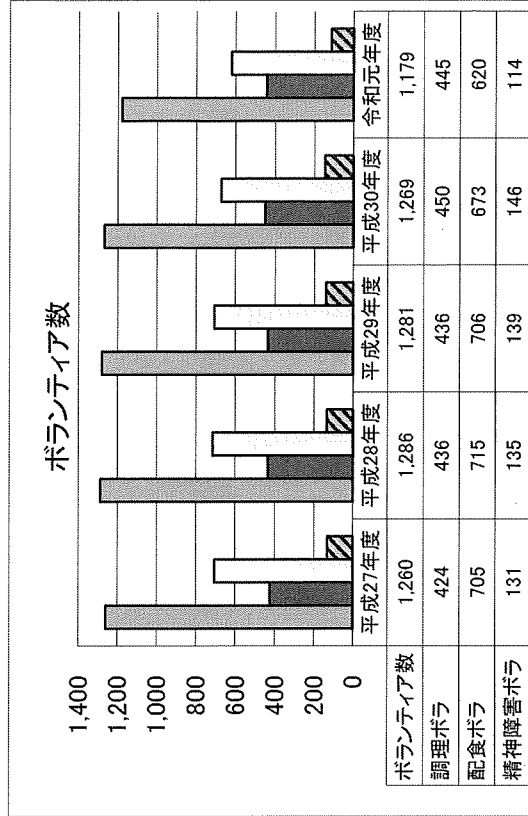
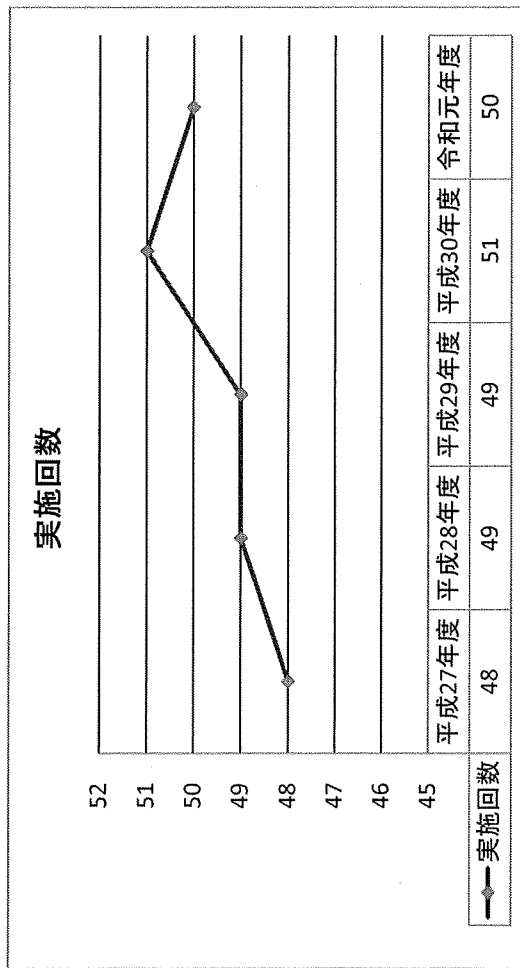
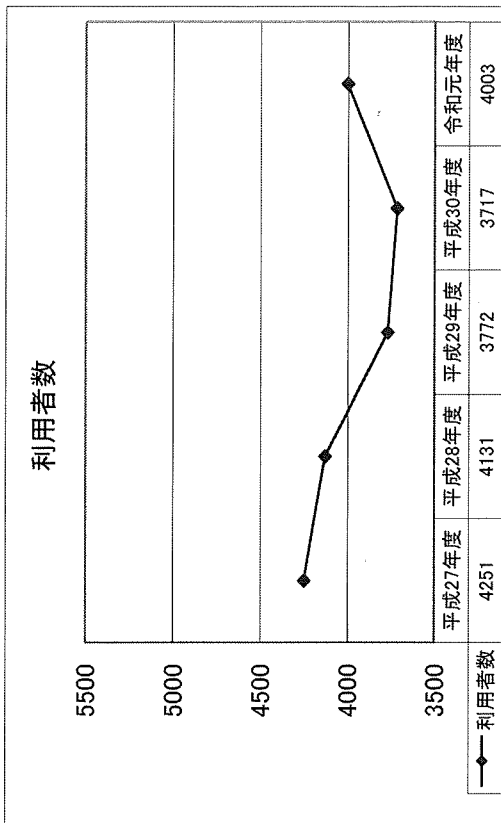
調理ボランティア10名 配食ボランティア15名
 <パート1名

《 会費収入 343,000円 市補助金 371,000円 共同募金配分金 920,000円 利用者負担額 1,200,900円 前期末支払資金残高 300,442円 決算額 3,135,342円 》

75歳以上の在宅で一人暮らしの高齢者や重度の障害者世帯に対し、毎週水曜日にボランティアの協力を得て、安否確認を目的に配食サービスを実施しております。(年末配食時に利用者の異変に気づき、医療機関へつなぐ事が出来たケースもありましたので改めて安否確認の徹底をお願いします。)

令和元年度3月末の登録者は106名、1回の平均利用者数は80.1名でした。傾向として、通院や他の福祉サービスの利用で、単発的に利用を控えられる方が多い状況です。

配達のボランティアは、主に民生委員の協力が得られておりますが、調理ボランティアの方の新規登録が少ない状況で、年間を通して呼びかけましたが、十分な人数が確保できておりません。次年度も引き続き広報等にて募集を行う予定です。



①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

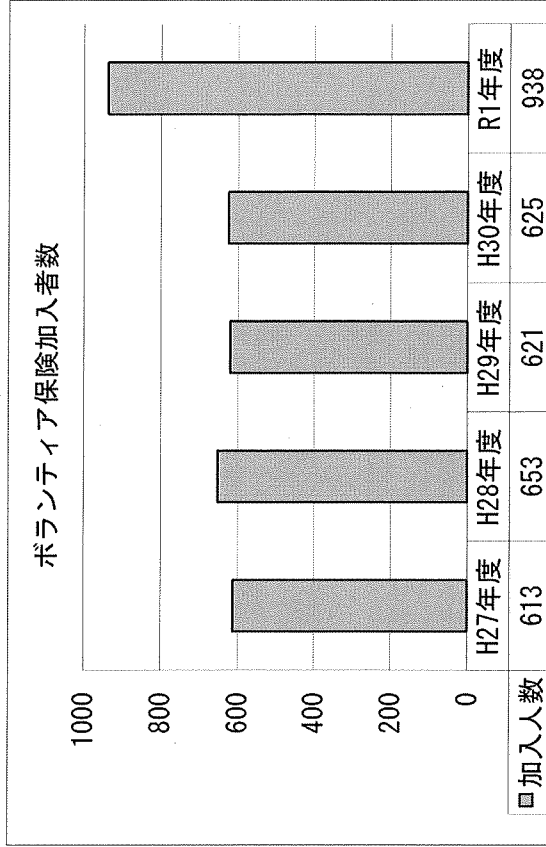
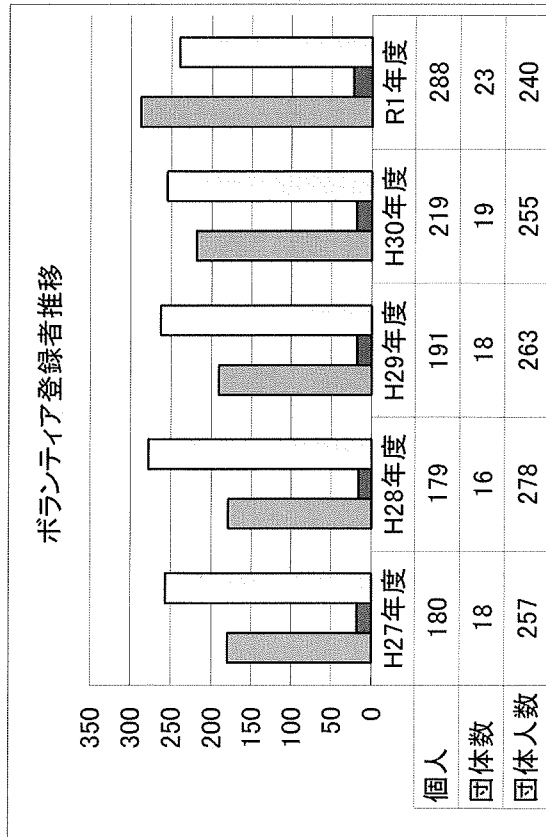
ボランティアセンター事業(ボランティア活動事業サービス区分) 《職員1名》

《市補助金収入 5,839,000円 会費収入 119,000円 共同募金配分金 198,000円 その他の収入など 935,411円 決算額 7,091,411円》

傾聴ボランティアの活動が地域包括支援センターや居宅介護支援事業所へ周知され、施設訪問だけでなく個人宅訪問のニーズも増加し、活躍の場を広げを開催予定しておりますが、新型コロナウイルスの影響で延期となっています。今年度は災害派遣福祉チーム・避難所・災害ボランティアセンターがどのように連携していただくか等の課題について講義と演習で一緒に考えました。自主防災組織や防災士の方等意識の高い方に加えて社会福祉法人等の方々にも来ていただき、防災意識を高めることができました。災害ボランティアセンターを知っていただくことで災害ボランティア事前登録も新たに6名登録してくれました。引き続き、カドルファミリーの「とことこ」、ワナゲ大会や運動会、高知県社会福祉協議会主催のナツボラ等高校生のボランティア参加が多くありました。ボランティア活動の場が近くなることで、将来に活かすためにボランティアをしたいと、学生もボランティアに興味がある方が多くなっており、地域福祉の推進につながるかと考えています。

施設や学校からのボランティア要請には、例年通りボランティア団体等を派遣するコーディネート役も果たしています。

- ・傾聴ボランティア...施設訪問4回 訪問者延31名 ・8名の個人宅訪問 訪問者延52名 ・定例会11回 参加者延83名
- ・「災害ボランティア運営基礎研修」...R2/1/25開催 参加者32名 ・避難所運営ゲーム...4地区 参加者延140名
- ・「とことこ」登録学生ボランティア...56名 ・ワナゲ大会参加学生ボランティア...7名 ・「ナツボラ」参加学生ボランティア...2名
- ・第14回福祉ふれあい合同運動会...R1/10/28開催 総勢約150名参加 ・災害ボランティア事前登録者総数...18名
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で中止...第4回中村地域ふくしまつり(R2/3/6開催予定)、傾聴ボランティア養成講座(R2/2/29開催予定)



※R1年度加入人数は、間接的に加入している人数も含んでいます。

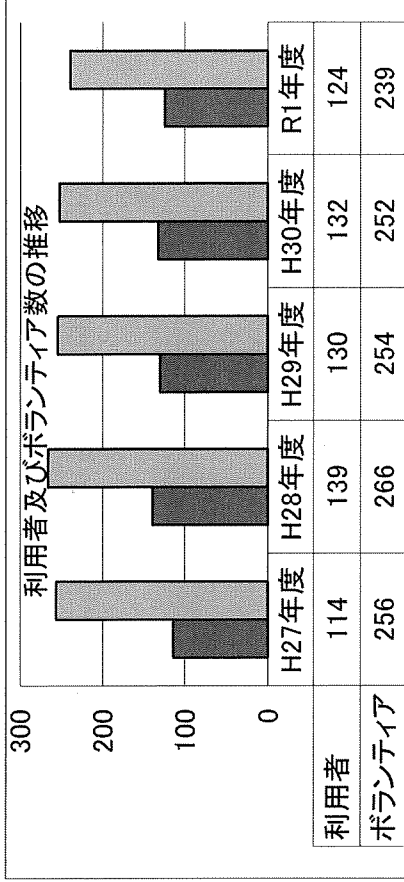
①地域福祉の推進とボランティア活動の充実
 障害者等サービス事業(共同募金事業サービス区分)

《 会費収入 48,000円 共同募金配分金 38,000円 決算額 86,000円 》

朗読サービス事業

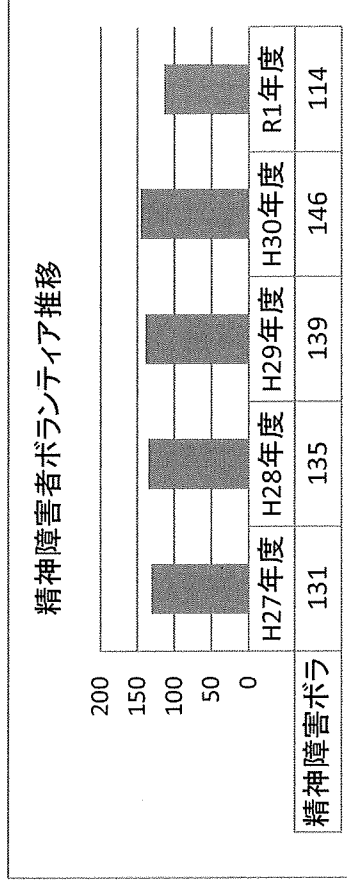
朗読ボランティアの協力により、情報不足になりがちな視覚に障害のある方等に、毎月市の広報と社協だよりをCDに録音して送付し、日常生活に必要な情報提供を行いました。

利用している方からは、四万十市の様子が分かって助かっていまして喜びの声が届いています。



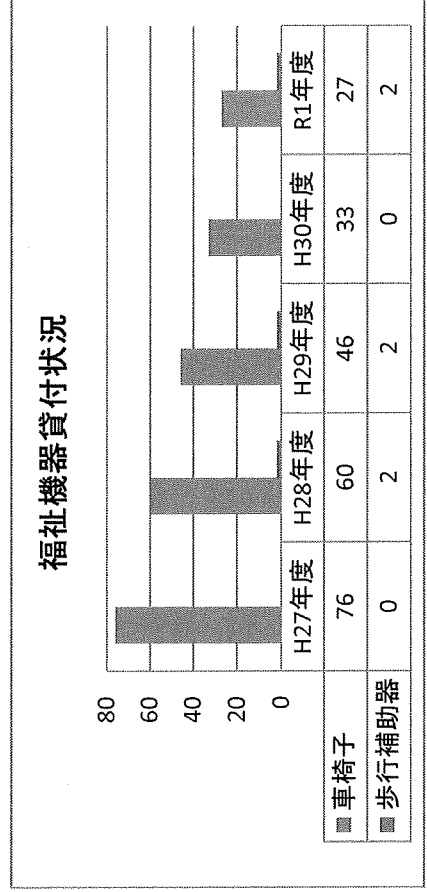
精神障害者社会参加事業

精神障害者の社会参加を目的に、配食サービス事業の弁当の配達を行い、社会参加のきっかけ作りとしています。当事者の体調等により変化があるので、職員がサポートをしながら行いました。
 (配食サービス事業でも再掲)



福祉機器貸付事業

身体機能の低下した障害者や高齢者等の生活支援の為、車椅子等を一定期間無料で貸し出し、日常生活の利便を図り、生活の質の向上と併せて介護者の負担軽減に努めました。



①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

福祉教育の推進(共同募金事業サービス区分)

市内小・中学校の児童生徒に、ボランティア活動等の意義や福祉への理解を高め、児童生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることに努めました。今年度は看護学校からも依頼があり、体験学習を通して地域と関わっていくことの必要性やボランティア活動の促進についても啓発を図りました。また、各学校からの依頼に基づき各種体験学習を行っています。また、プログラム等の案内を出したことで昨年度より依頼数が増加しました。

日本赤十字社と連携して、防災福祉教育として避難所運営ゲームを2つの学校で行いました。八東中学校では地区の方と一緒にゲームを行い、実際に発災した際にどのように動くべきか、どんな苦勞があるかを想定していただき、防災に向けての学びと地区との連携に繋がりました。

また、昨年度に続けて四万十玉姫の会主催の「まちづくり人生ゲーム」に参加して、多くの小学生に高齢者疑似体験を行い、福祉教育の推進を行いました。

《職員兼務1名》

学校名等	実施日	内容	体験学習等			備考
			学年	人数		
中村南小学校	R1.5.14	高齢者疑似・車いす	5	34名		
県立中村中学校	R1.5.30	高齢者疑似	2	61名		
中筋小学校	R1.6.11	手話学習	全学年	39名		
東中筋中学校	R1.6.14	避難所運営ゲーム	2	11名		
中村中学校	R1.6.17	車いす・アイマスク	1	104名		
下田中学校	R1.6.26	高齢者疑似・車いす	3	11名		
西土佐小学校	R1.9.30	高齢者疑似	1・2	23名		
東中筋中学校	R1.10.11	高齢者疑似・車いす	3	11名		
四万十看護学院	R1.10.10	高齢者疑似	2	37名		
中村小学校	R1.11.25	高齢者疑似・車いす	5	48名		
市内小学生	R1.11.30	高齢者疑似	—	97名		まちづくり人生ゲーム
大用小学校	R1.12.8	高齢者疑似	全学年 保護者+ 教職員	29名 15名		人権参観日
利岡小学校	R2.1.20	車いす・アイマスク	3・4	9名		
八東中学校	R2.1.16	避難所運営ゲーム	全学年	13名		実崎地区と合同
中村西中学校	R2.1.21	高齢者疑似・車いす	2	59名		
東山小学校	R2.2.17	高齢者疑似・車いす	4	39名		
蘇岡小学校	R2.2.19	高齢者疑似	3・4	6名		
合計				646名		

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

地域福祉の推進(法人運営及び共同募金配分金サービスクラス)

《福祉活動事業 会費収入 250,000円 共同募金配分金 150,000円 決算額 397,368円》

西土佐地域社会福祉大会につきましては、12月の第4回理事会にて報告した通り、実行委員会にて協議の結果、第40回の節目をもって終了となりましたが、最後というところもあり講師謝金を増額し、四万十市にゆかりのあるシンガーソングライター 堀内 佳氏を招へいし、「いま・しあわせに生きるために」と題して、歌を交えながら笑いあり、涙ありの生い立ちを聞かせてもらい、来場者に喜んでもらうことができました。また、川崎保育所や西土佐中学校、その他住民の方によるアトラクションで楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

8

健康福祉地域推進事業では、3地区の委員会からの依頼を受け、介護予防のレクリエーションや、健康づくり事業での「認知症」や「健康づくり」の学習会に協力しました。

ボランティアセンターの機能として、福祉施設や小学校からの依頼に応え、ボランティア団体やすらぎの会を中心にボランティアを派遣しました。(中学校の読み聞かせは、図書館への委託事業となり、ボランティア派遣は中止となりました。)

地域福祉係で実施している「日常生活自立支援事業及び成年後見事業」に関して、各々1名、西土佐にて利用者ができ、支所が担当することになりました。

- ・ボランティア団体支援
やすらぎの会、JAこだま会

事業名	内 容		場 所		回 数		延 べ 人 数		備 考
	内容	場 所	回数	延べ人数	回数	延べ人数			
西土佐地域社会福祉大会	講演会 アトラクション	ふれあいホール	1回	225名	1回	225名	11/10開催		
健康福祉地域推進事業に協力 地域支援	介護予防事業に協力 権谷地区門松作	各地域の集会所 旧権谷小学校	4回 1回	53名 10名			3地区		
ボランティアセンター機能	話し相手 嬉しいもの カラオケ 読み聞かせ 合 計	デイサービスセンター 特養かわせみ ケアハウス 西土佐小学校	11回 9回 21回 15回 56回	21名 18名 40名 75名 154名					
事業名	内 容	場 所	回 数	延 べ 人 数	備 考				
高齢者閉じこもり 等予防支援	関係機関との情報交換及び対象者宅訪問			0件					
ふれあい相談 訪問相談・支援	電話や来所による相談 相談業務等に関連し訪問			12件 2件 4件 1名					
フードバンク事業	受入れ 利用者			9件 0件 0件 16件 1名					
生活福祉資金貸付	問合せ・相談等 福祉資金の貸付			68日 1名					
小口生活資金貸付	生活資金の貸付			8件					
日常生活自立支援事業	相談・支援 利用者								
成年後見事業	相談・支援 利用者								
車イス貸出	短期使用者に貸出								

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

法人運営(法人運営サービス区分)

西土佐支所にて実施した各団体事務と、関係機関との会議等の状況は以下のとおりです。

【団体事務】

四万十市老人クラブ連合会(西土佐地域老人クラブ連絡協議会)

役員会(4/4,5/13,7/10,9/5,11/7,1/9,3/5)、監査(4/12)、理事会(4/22)、定期総会(5/10)、若手・女性委員合同総会(5/20)、中村地域会長会(8/21)
健康管理研修(4/13,7/16・22)、レクリエーション講習(9/11,11/12,2/17)、健康料理研修(12/24)、手芸教室(7/4)、体力測定(7/25・26)
男の料理教室(4/19,5/17,6/21,7/19,9/20,10/18,11/15,12/20,2/21)、3日体操(4/9,5/20,6/17,7/1,10/7,11/18,12/2,1/20,2/3)
ワナゲ大会(12/16・17)、グラウンドゴルフ大会(9/26)、ゲートボール大会(11/21)、芸能大会関係(6/24,10/29,11/20)、老連だより関係(7/29,2/4)
ろうれんピック関係(10/18,10/31)、市町村老連会長・事務担当者会(4/18)、中四国ブロックリーダー研修会(7/4・5)、ブロック別リーダー研修会(8/8)
県大会(11/15)、元氣はつらつ交流会・はちきん大会(12/3)、交通安全ふれあいフェスタ(12/8)、健康づくりリーダー等研修会(12/12)
(西土佐老連協) 会長会(4/24,3/18)、監査(4/12)、ゲートボール大会(5/23,6/11,7/24,9/13,10/17,1/14)、グラウンドゴルフ大会(10/10)、日帰り研修(7/8)

西土佐地区民生委員児童委員協議会

定例会(4/25,6/3,8/19,10/28,12/3,3/6)、監査(4/11)、県民生児童委員大会(5/28)、学校訪問(5/17)、幡多ブロック研修関係(6/10,8/21,2/13)
視察研修(9/24)、就学前児童保護者との顔合せ(11/21)、委嘱状伝達式(12/3)、新任(1年目)研修(2/10)

四万十市身体障害者連盟

総会(4/24)、幡多地区身障者福祉大会・スポーツ大会(11/1)、グラウンドゴルフ大会(2/18)

日本赤十字社

災害等無く、活動無し

共同募金委員会

街頭募金(10/1・6)、特別募金(12/5)、小学校へ説明会(11/5)

【関係機関との会議等】

クレヨンの箱(福祉関係者会議)(4/10,6/12,8/7,12/11)、地域課題検討会(6/18,7/23,8/20,9/17,10/15,11/19,12/17,2/19,3/17)
第2層推進会議関係(5/11,6/22,7/20,8/7・28,9/14,10/25・31,11/18,12/18,1/29,2/26,3/9・27)、JAこだま会総会(4/11)、やすらぎの会総会(5/8)
24時間テレビ関係(6/28,8/9・19,9/10)、青少年育成会議関係(7/31,8/8)、小中学校支援地域本部運営協議会(6/25,2/18)
西土佐福祉会敬老会(9/18)、西土佐地区健康福祉委員会代表者連絡会(10/21)(市全域2/5)、介護予防サポーター養成講座(11/28)
じんけんフェスティバル関係(11/29,1/19)、いちいの郷運営推進会議(1/21)

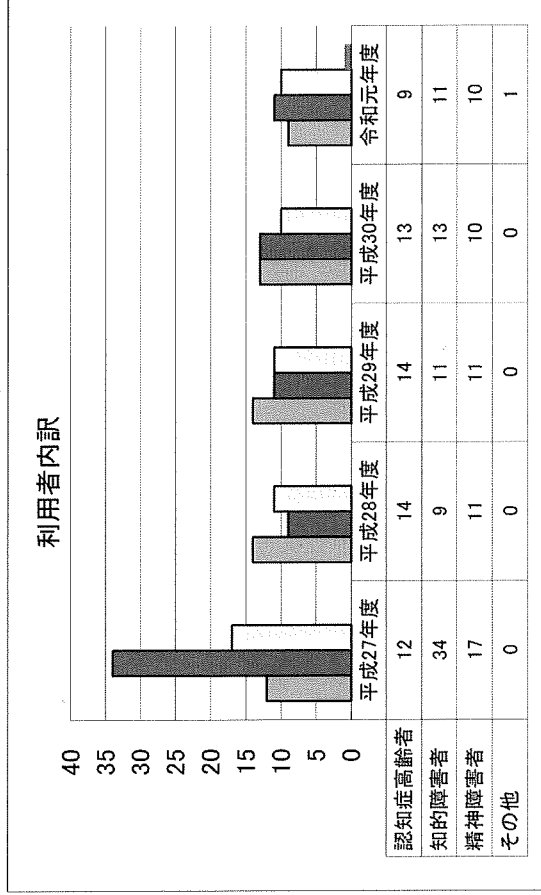
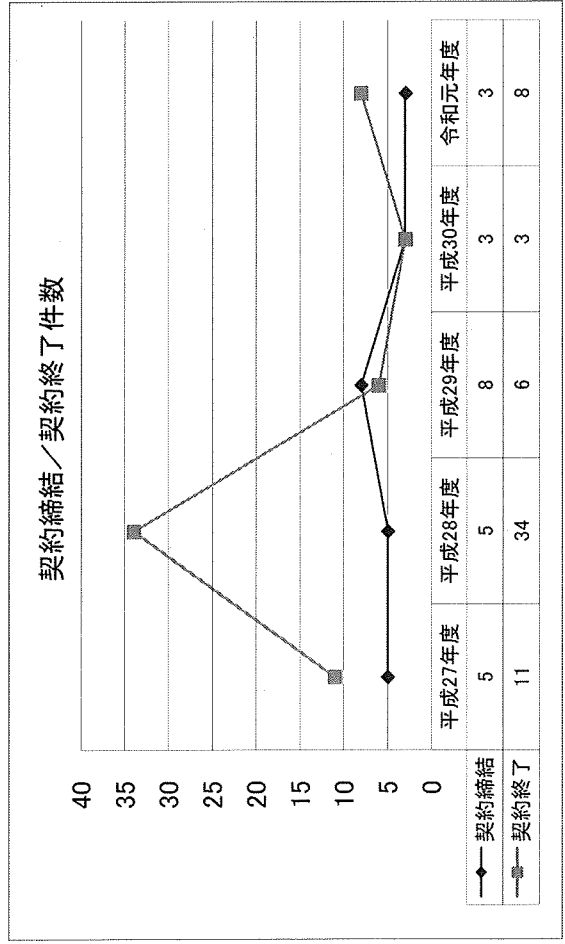
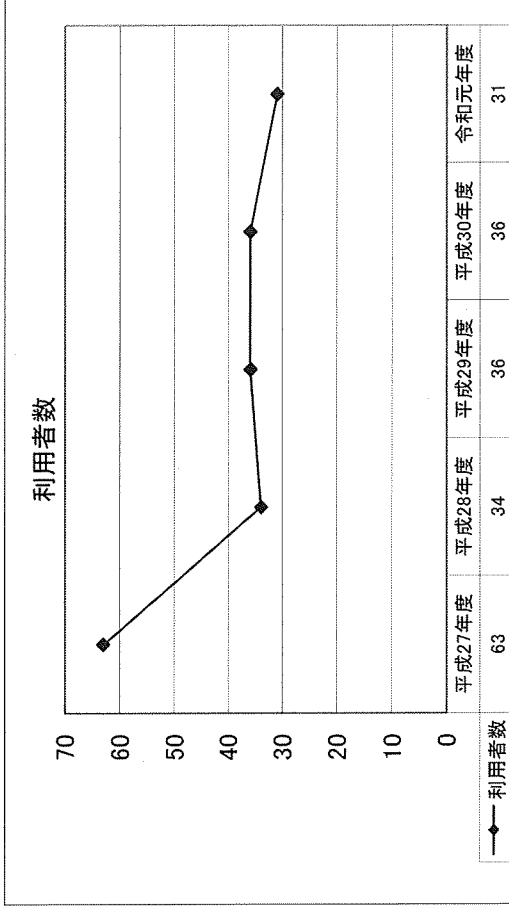
②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉サービス利用援助事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）〈職員2名〉兼務

《県社協受託金2,456,000円 利用料202,500円 後見報酬1,289,557円 市補助金 3,053,000円 サービス区分間繰入金収入443,877円 決算額 7,444,934円》

認知症や知的障害・精神障害等により判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行い、地域で自立し、安心して暮らせるように利用者の支援を行います。
今年度も昨年同様、各関係機関からの相談件数が多くあり、内容として家庭環境が複雑で専門職でないと対応できない案件等が多く、面談やケースアセスメント等を費やしています。結果的に新規の契約に至らず、契約終了者は多かったので、前年度より利用者数が少なくなっています。

- ・相談支援件数他 1,465件
- ・新規契約件数 3名
- ・契約終了者数 8名
- ・年度末利用者数 31名（うち書類預りのみ利用者5名）



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

法人後見事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

<職員4名兼務>

《後見報酬収入 1,289,557円》〈福祉サービス利用援助事業再掲〉

認知症・知的障害・精神障害等、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見人、保佐人又は補助人になることにより、その人の財産管理や身上監護を行い、その人の権利を擁護することを目的に支援を行っています。
 対象者の要件として、四万十市在住で紛争性がなく、身上監護と日常的な金銭管理を中心に市長申立てをすの方等を中心に受任をしていますが、本会として受任者数を10人を上限に取り組んでいます。日常生活自立支援事業の担当者の受け持ちが多くなっていますが、次年度より現状職員数より多くの職員に受け持つてもらう予定としています。

・新規契約件数……1名 ・契約終了者数……1名 ・年度未受任者数……9名

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
問合せ件数	13	10	4	9	5
支援回数	144	229	357	392	457
新規契約数	3	1	2	3	1
契約終了	2	0	1	0	1
実受任者数	6	5	6	9	9

※後見対象者 判断能力が欠けているのが通常の状態の方
 ※保佐対象者 判断能力が著しく不十分な方
 ※補助対象者 判断能力が不十分な方

受任時年齢	類型	障害等	審判到達日	申立人	現在の状況等	利用経緯等	備考	
26年度	88歳	後見	認知症	H26.5.26	四万十市長	施設	地域包括	
	86歳	後見	認知症	H26.11.21	配偶者	施設⇒病院	家庭裁判所	H27/4/14死亡
	82歳	後見	認知症	H27.3.11	四万十市長	病院	地域包括	H27/6/14死亡
	86歳	後見	認知症	H27.7.27	甥	在宅⇒施設	家庭裁判所	
27年度	91歳	後見	認知症	H27.12.25	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
	64歳	後見	知的障害	H27.12.25	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
28年度	84歳	後見	認知症	H28.12.15	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	H30/3/30死亡
29年度	86歳	後見	認知症	H29.5.1	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
	81歳	後見	認知症	H29.6.14	四万十市長	在宅⇒施設	地域包括	
30年度	77歳	後見	認知症	H31.3.19	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	R1/11/30死亡
	87歳	後見	精神障害	H31.3.28	四万十市長	在宅⇒施設	地域包括(前福祉サービス利用者)	
	50歳	後見	知的障害	H31.3.28	四万十市長	病院	地域包括(福祉サービス利用者)	
令和元年度	74歳	後見	知的障害	R1.10.1	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

ふれあい相談センター事業（共同募金事業サービス区分）

《 会費収入 189,000円 共同募金配分金 195,000円 決算額 384,000円 》

一般相談	毎週 月～金曜日	午前 8 時30分～午後 5 時15分	(四万十市社会福祉センター 本所)
法律相談	月/2回 第1・3月曜日	午後 1 時30分～午後 3 時30分	(四万十市社会福祉センター 本所)
支所相談	毎週 月～金曜日	午前 8 時30分～午後 5 時15分	(四万十市総合福祉センター 支所)

一般相談については、対応職員を決めず来所や電話の相談を基本に、必要に応じて訪問による対応で実施しました。相談件数は昨年度より減少しましたが、金銭問題や生活問題など生活困窮に関する相談が多い結果となりました。また、法律相談については1回につき上限4名として毎月2回実施していますが、相談者が多く住民からは問題が解決して良かったと喜んでいただいている事業で、今後も継続して実施していきます。

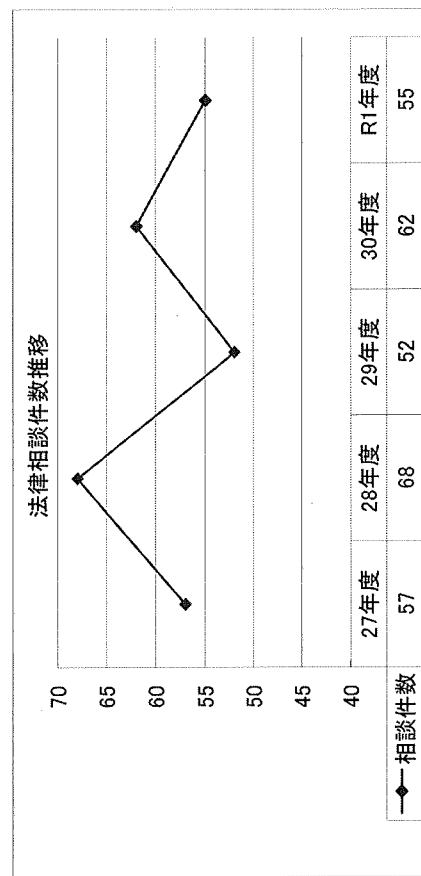
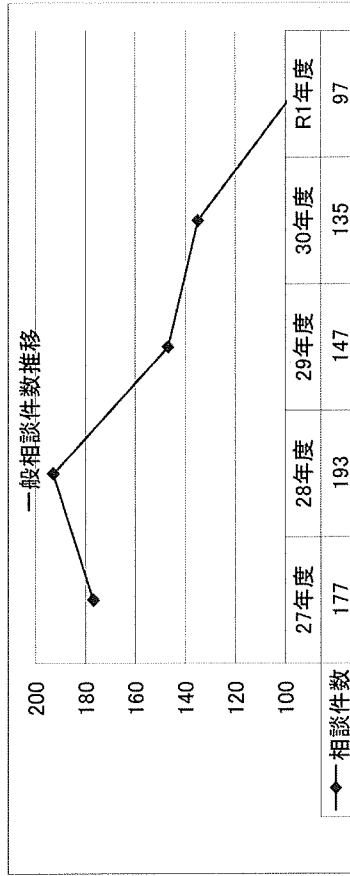
27年度		28年度		29年度		
1	老人福祉問題	26	1 金銭問題	51	1 生活問題	34
2	生活問題	24	2 生活問題	37	2 金銭問題	29
3	金銭問題	24	3 家族・結婚・離婚問題	14	3 職業・生業問題	11
			3 介護保険・老人福祉問題	3		11

30年度		R1年度		
1	フードバンク	93	1 家計・金銭問題	43
2	生活問題	19	2 生活問題	22
3	金銭問題	8	3 家族関係・離婚・結婚問題	12

※1 一般相談については、職員が対応

※2 法律相談については、弁護士が対応

中村ひまわり基金法律事務所・法テラス中村法律事務所の弁護士が輪番対応



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

小口生活資金貸付事業(貸付事業サービス区分)

低所得者等に対し、短期の生活資金貸付と相談援助を行うことにより、生活の安定を図ることができるよう努めました。
生活保護申請者のつなぎ資金の申請が多く、小口生活資金貸付事業の要綱の一部改正を行い、福祉事務所と連携して対応しました。また、滞納者に対しては償還指導等を行い、延滞利息を償還してもらったことができました。

※ 資産の状況(令和2年3月31日) ※3,000,000円を福祉資金へ積立
・預金残高 3,977,723円

※ 小口貸付等の状況
・相談件数 60件
・貸付額 306,000円(9件)
・貸付残額 145,100円
・償還終了件数 8件

※ 特別小口貸付等の状況
・相談件数 2件
・貸付額 10,000円(2件)
・貸付残額 0円
・償還終了件数 2件

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比 R1年-H30年
貸付件数	3	6	3	4	9	5
貸付額	230,000	505,000	220,000	330,000	306,000	-24,000

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比 R1年-H30年
償還完了件数	4	4	6	4	8	4
償還額	439,649	373,000	460,000	239,512	362,575	123,063
内延滞利子	7,649	18,000	20,000	1,057	130	-927

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年度比 R1年-H30年
年度末貸付件数	4	6	3	3	3	0
貸付残額(元金)①	180,000	330,000	110,000	201,545	145,100	-56,445
延滞利子②	135,911	117,911	98,096	0	0	0
年度末残額①+②	315,911	447,911	208,096	201,545	145,100	-56,445

生活福祉資金貸付事業(貸付事業サービス区分)

《 県社協受託事業決算額 864,000円 》

低所得者等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより経済的自立、生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。3月25日より新型コロナウイルスの緊急小口資金(特例貸付)制度が出来、貸付対応を行いました。

【令和元年度貸付等の状況】

* 問合せ・相談件数 306件
* 申請件数...29件(合計 6,641,000円)
* 貸付件数...19件(合計 3,823,000円)
(貸付内訳)
教育支援資金...4件(2,512,000円)
福祉費...3件(519,000円)
緊急小口資金...12件(792,000円)
うち10件は生活保護へのつなぎ資金となっています
緊急小口資金(特例貸付)...8件(1,300,000円)

フードバンク事業

生活に困窮し日々食に困っている人々を対象に、市民の方々より食料品の寄付や、フードバンク高知・セカンドハーベストジャパンより食料品を無償でいただき提供する事業を行っています。今年度も、市民の方々より多くの食料品をいただきました。

市民やフードバンク高知等から提供を受けた食料

・重量換算で年間 753kg
・提供した世帯(人数)...81世帯(102名)

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉人材バンク事業（福祉人材バンク事業サービズ区分）

《 県社協受託金 4,162,000円 市補助金収入 1,707,000円 サービズ区分繰入金 1,240,672円 その他の収入 10,260円 決算額 7,119,932円 》

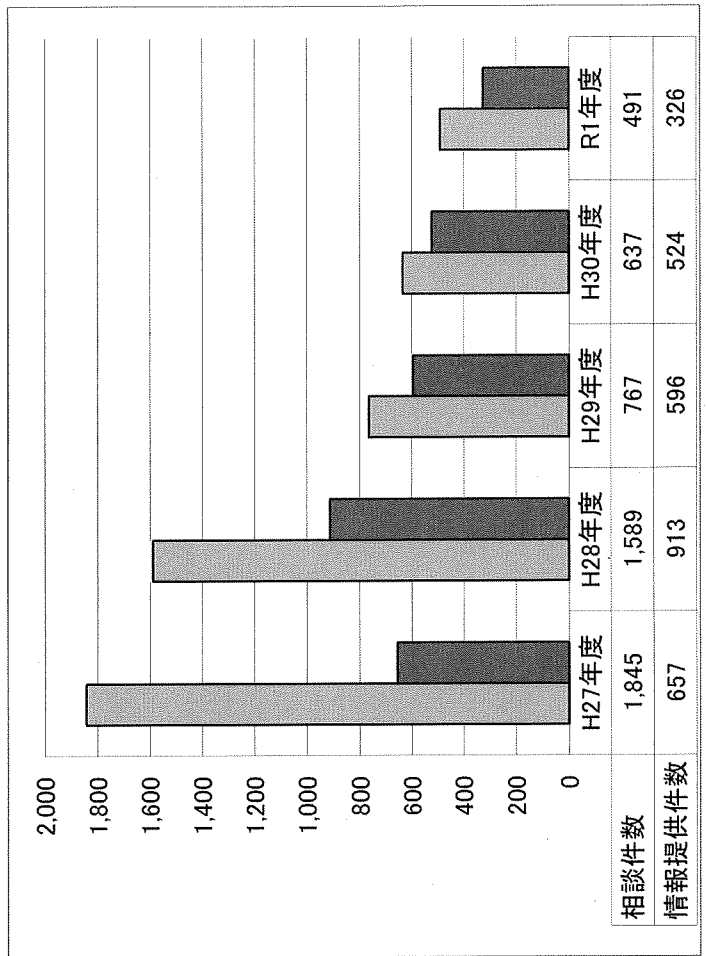
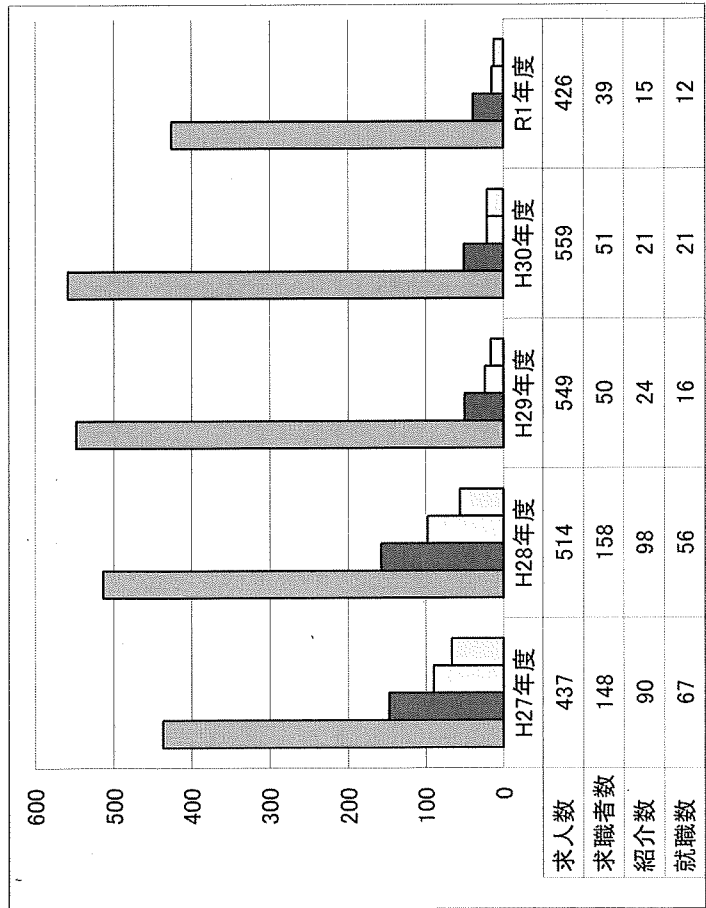
〈職員1名兼務〉

無料職業紹介事業では幡多6市町村と四万十町を管轄区域として、求職登録者が希望する求人に応じて福祉・介護の職場へとつなぎました。平日は常時窓口での相談を行い、広報誌等への周知や関係機関との連携により登録者の確保と求人情報の提供を行いました。また、今年度は2月にハローワーク四万十と共催でふくしの仕事相談会を四万十市（参加者10名）・土佐清水市（参加者0名）の2カ所で開催し、福祉職の魅力を発信する機会も設けました。7月と2月に高知市で開催されたふくし就職フェアへも主催者として参加しました。福祉人材養成事業として、介護福祉士と介護支援専門員の模擬試験を開催しました。また窓口相談等で資格取得方法や講習先情報等の提供を行いました。

少子高齢化の進行と人口減少が進む中で、介護・福祉人材の確保は喫緊の課題であります。今後は更なる福祉・介護の新規求職登録者の確保と、潜在有資格者の掘り起こしに取り組み、併せて県人材センターと連携し、高校での保育・介護セミナーや介護職の新たな担い手として介護助手の取組みを進めていきます。

【福祉人材養成事業】介護福祉士模擬試験開催…1回12名受験 介護支援専門員模擬試験開催…1回9名受験
 【啓発広報事業】社協だより掲載（四万十市、土佐清水市、宿毛市、黒潮町）
 【運営委員会開催】1回（文書開催）

行政広報掲載（四万十市、宿毛市、黒潮町）



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉・介護人材マッチング機能強化事業（福祉人材バンク事業サービス区分） <職員1名兼務>

《 県社協受託金 2,632,000円 市補助金 3,468,000円 サービス区分間繰入金 637,089円 決算額 6,737,089円 》

幡多人材バンクにおけるマッチング機能の強化及び施設・事業所における職員の定着促進を目的として、求職者への支援や施設・事業所への助言を行いながら、対象者に応じた細やかなマッチングの実施や就職後のフォローアップ、働きやすい職場づくりへの支援等を行いました。就職後のフォローアップでは職場の雰囲気や体調面などを聞かせてもらい、入職者の定着支援につながっています。

ハローワークセミナーについては毎月開催していますが、台風と新型コロナウイルスの影響で2回中止となっています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
延訪問件数(件)	393	121	45	50	23	
訪問日数(日)	88	33	23	23	17	
ハローワークセミナー開催(回)	12	12	12	12	10	
延参加者(人)	123	73	57	30	52	
延福祉職場体験者(人)	7	6	6	5	5	

③在宅福祉サービスの充実

高齢者はつらつサービス事業 (はつらつサービス事業サービズ区分) <職員1名 臨時3名>

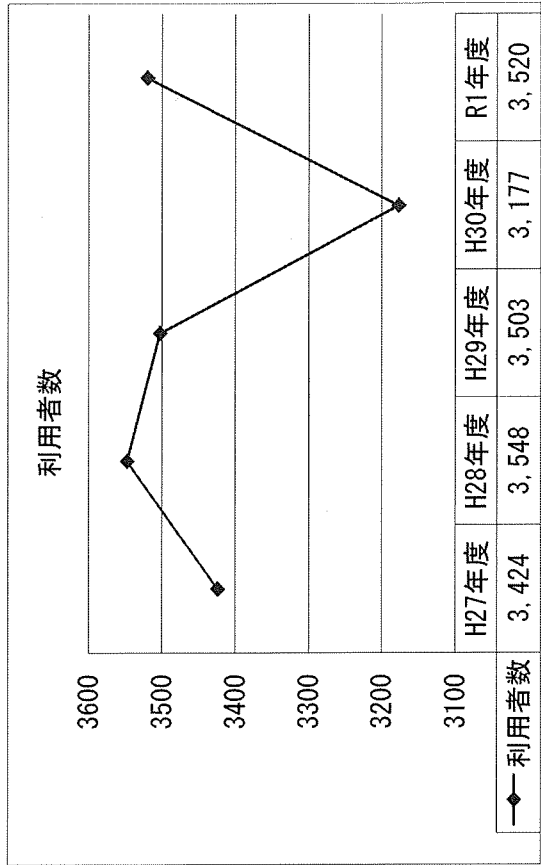
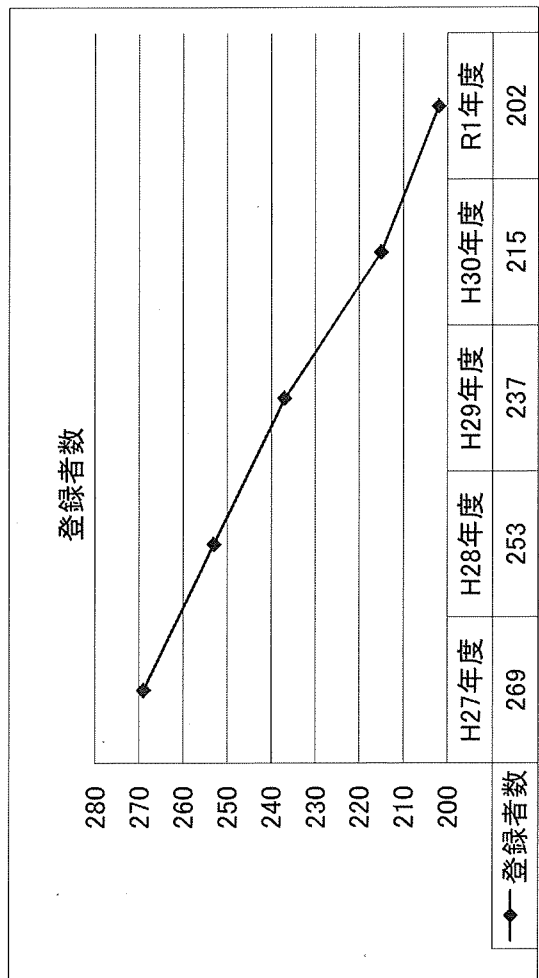
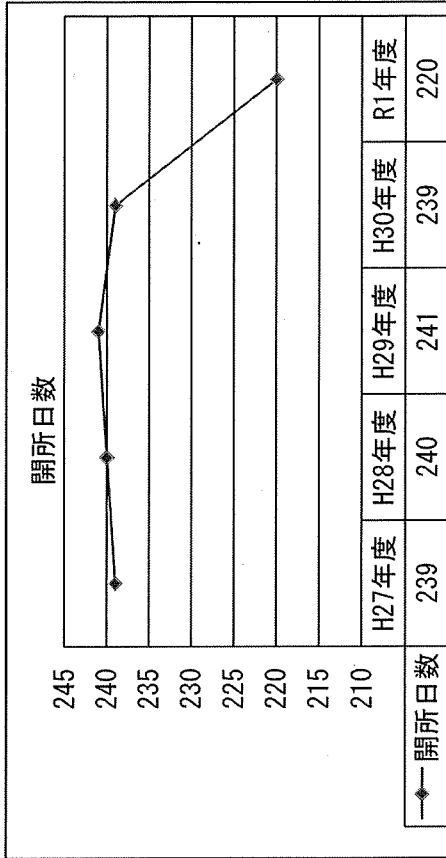
《市受託金 11,512,320円 市補助金 2,113,094円 利用料 2,008,200円 決算額 15,633,614円》

介護保険非該当の利用者(65歳以上の高齢者)に対し、健康チェックや創作活動、レクリエーション、日常必需品の買出しなどのサービスを提供し、高齢者が楽しく生きがいをもてるよう事業を実施しました。

4月から8月までの1日の利用者数13.5人と減少したので、9月から班編成を行い、9月から2月までの1日の利用人数が18.2人になりました。

利用者の望む声があったので、延光寺でお参り・椰子での食事を1年ぶりに行い、大変喜んでもらえました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策で3月4日からの閉所に伴い、中村小学校2年生との交流が中止となっております。利用者の皆様が楽しみにしている行事なので小学校との交流は今後も続けて行きたいと思います。



③在宅福祉サービスの充実

訪問入浴事業（介護保険事業サービス区分）

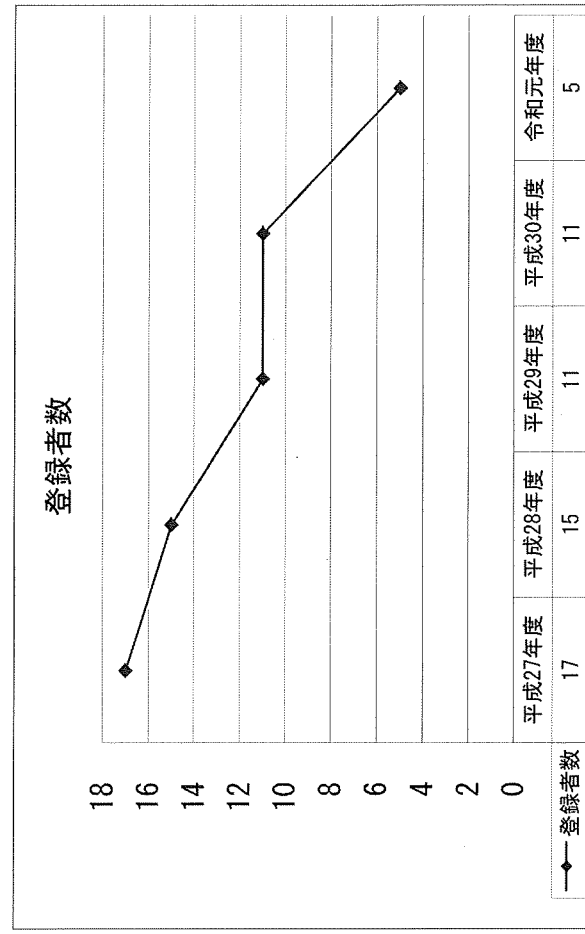
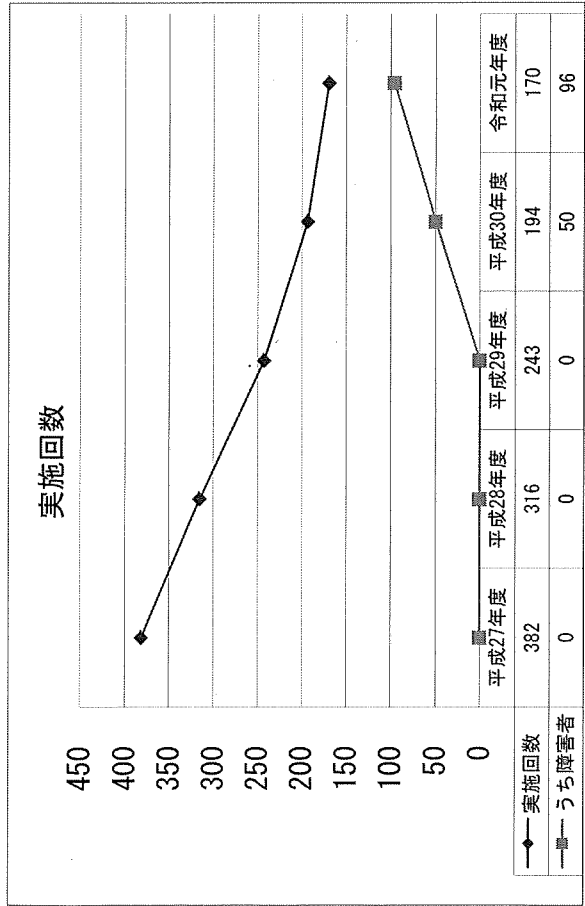
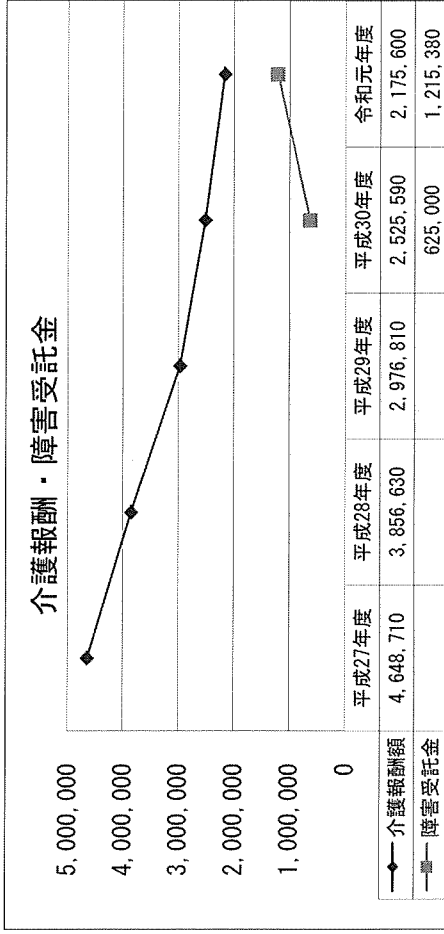
〈職員1名兼務 パート2名〉

《介護保険事業収入 2,175,600円 市補助金 2,329,000円 身体障害者事業受託金収入 1,215,380円 決算額 5,719,980円》

介護認定を受けた寝たきりの方等に対し、自宅のベットの横に浴槽を設置し、安全・安心に心がけ入浴サービスを提供し、利用者のみだけでなく、介護されている家族へのメンタル面での配慮等、介護負担が軽減するようなコミュニケーションやサービスの提供に努めてきました。

登録者は、一時的な入所や入院で入浴回数の減少もあり、前年度と比較し減少しており、介護報酬は減収となっておりますが、障害を持った利用者が1年を通し利用された事で受託金収入が増え、全体の事業収入は前年度より微増しました。

3月末現在の実質入浴利用者は4名で、火・金曜日週2日のみ稼働しております。



③在宅福祉サービスの充実

介護認定調査事業(介護保険事業サービス区分)

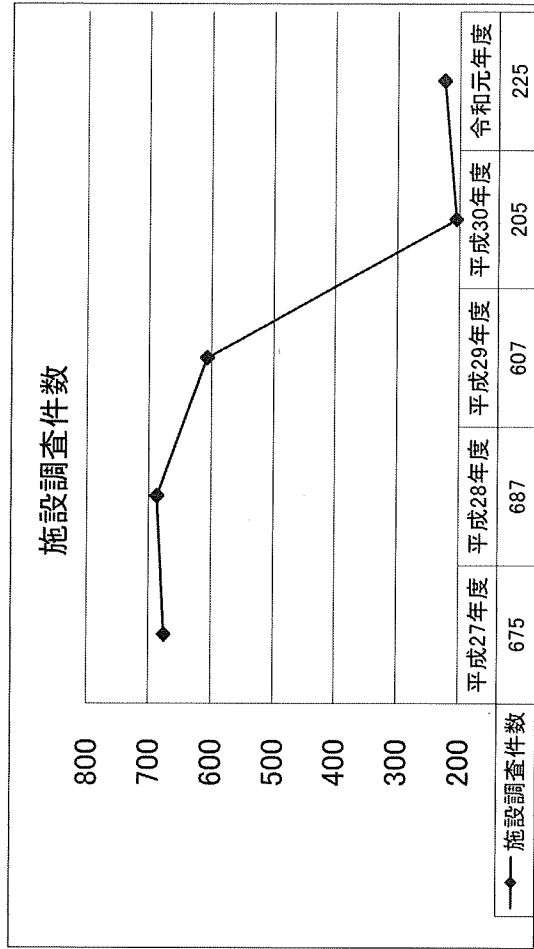
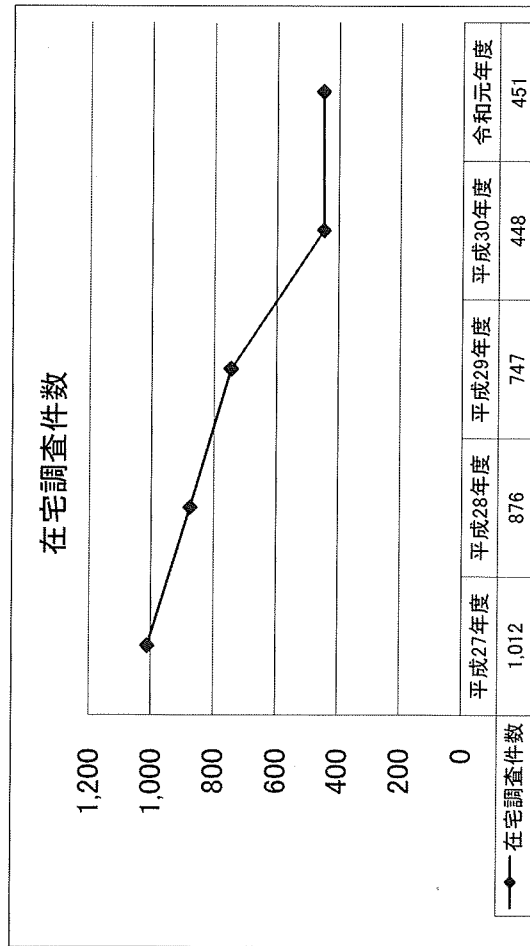
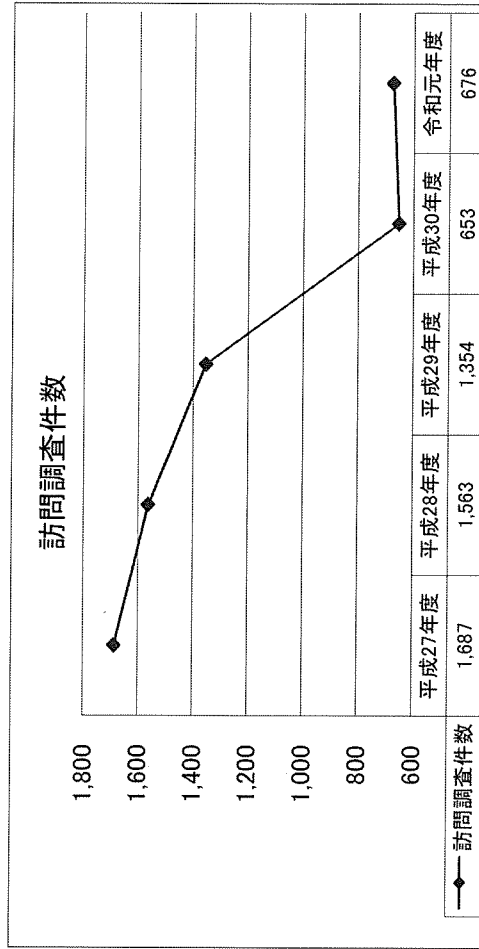
《 市受託金収入 3,684,700円 決算額 3,684,700円 》

事務受託法人として市より委託を受け、介護認定調査の依頼があった方を全国一律のものを基準に、聞き取り訪問調査を行います。

臨時職員を主として調査事業に取り組み、当初予定していた目標件数を若干上回りました。

次年度より介護認定調査事業は、四万十市が実施することになり、指定市町村事務受託法人を令和2年3月31日で廃止しました。

〈臨時1名・兼務正職員3名〉



③在宅福祉サービスの充実

障害者支援センター事業(障害福祉事業サービス区分)

〈職員1名〉

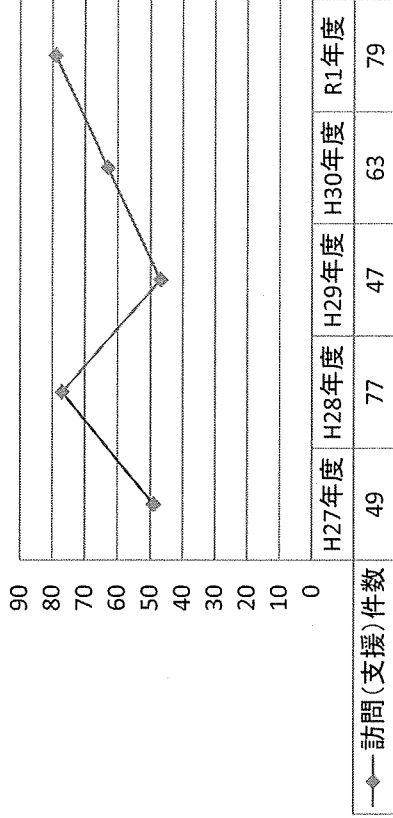
《市受託金 4,989,009円 障害支援区分認定調査 632,900円サービス計画報酬 2,413,390円 決算額 8,035,299円》

支援センター業務として、電話や来訪、訪問等で身体、知的、精神障害者の生活相談に応じ、関係機関につなぐ等の連絡調整や支援困難ケースにおいて申請書類の代行や同行等の直接的支援を実施しております。また、四万十市から委託を受けて障害支援区分認定調査も依頼に応じ実施しております。相談支援事業所として、障害福祉サービスを利用するために必要なサービス利用計画の作成や調整、定期的なモニタリング(計画の見直し)等を行っております。

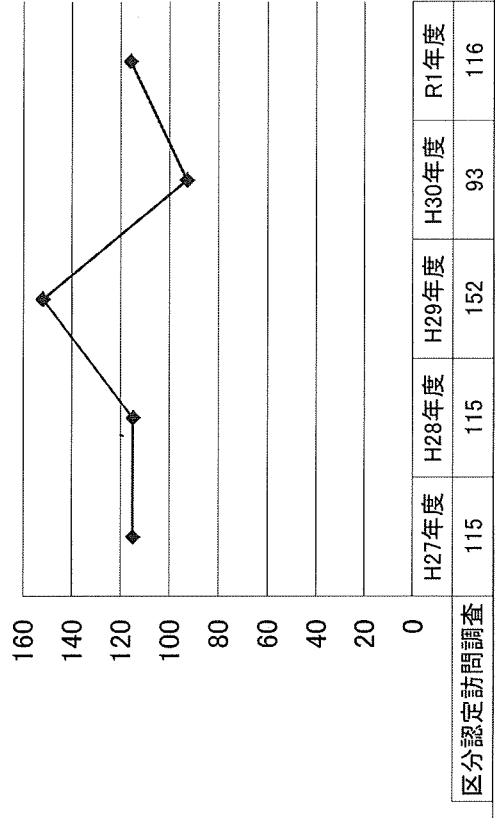
報酬改定で単価の減はありましたが、モニタリング期間が6ヶ月毎から3ヶ月毎となった方が増えた事などで実績も増えています。

- ・令和元年度相談支援事業所新規契約者 12名
- ・サービス利用休止 11名
- ・令和元年度3月末実質利用者 64名

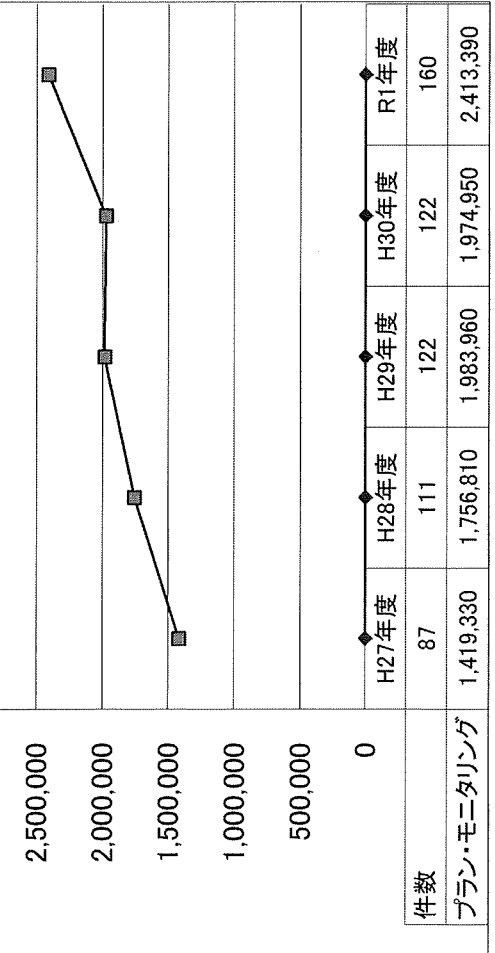
訪問(支援)件数



区分認定訪問調査



プラン・モニタリング



③在宅福祉サービスの充実

生活支援コーディネーター設置業務（地域福祉活動事業サービス区分）

《市受託金決算額 10,476,671円》 <職員1名・臨時1名>

生活支援コーディネーターは、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的として、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築や社会資源の開拓に取り組んでいます。

昨年度に引き続き、市域を3圏域に分けて設置した第2層生活支援等サービス支援体制整備推進会議（第2層推進会議）の活動に重点的に取り組まれました。この会は、数ある地域課題の中から「自分たちのやりやすい課題」について既存の社会資源やネットワークを活用しながら解決・軽減を図ることを目的に設置しており、各圏域で方向性を設定し、課題に即した資源開発に取り組んでいます。中村東圏域では、高齢者の介護予防活動の充実・強化を目的に四万十市オールドメディアの映像化の取組を行いました。また、西土佐圏域では、磯ノ川地区健康福祉委員会の連携により、地区住民を主体とした小型家電の収集・処分をイベント的に行いました。また、西土佐圏域では、公共交通を活用した買い物ツアーで見えてきた「高齢者が休める場所が少ない」といった課題に対応するため、メンバーの得意分野を活かした木工教室交流会を企画し、制作したたばこ（4脚）を「よって西土佐道の駅」等の高齢者の利用頻度の多い場所に設置しています。

また、生活支援コーディネーターとして業務を行う上では、各地区の健康福祉委員会の関係性の維持・向上は強く意識しており、既存の健康福祉委員会の活動にも積極的に参加しています。さらには、健康福祉委員会の事業活動の充実・強化に向け、介護予防リーダー養成講座等の人材養成にも取り組まれました。引き続き、健康福祉委員会の資質を高めていけるよう意図的に関与していきたいと考えています。

<主な活動内容>

生活支援体制整備事業関係	件数	備考
①ニーズや地域資源情報の把握	37件	地域ケア会議他
②サービス・支援の担い手の養成	32件	介護予防リーダー養成講座他
③研修会の参加（研修会・出張他）	4件	
④関係者間との情報共有	26件	行政・事業所他
⑤推進会議（第1層・第2層）	100件	第1層8回開催 第2層42回開催
⑥その他	25件	座談会他
計	224件	

健康福祉委員会関係	件数	備考
①介護予防・健康推進事業への協力	74件	介護予防体操・学習会他
②健康福祉委員会の設立関係	12件	
③意見交換会の開催・参加	17件	
④活動の広報支援	69件	「地域のいきいき活動」・facebook他
⑤その他	18件	わなげ交流大会参加者370名
計	190件	

③在宅福祉サービスの充実

高齢者閉じこもり等予防支援業務事業（地域福祉活動事業サービズ区分）〈職員 1名〉

《市受託金 6,388,000円 サービズ区分間繰入金 726,491円 決算額 7,114,491円》

この事業は、閉じこもり等支援が必要な高齢者を効果的かつ有効な方法で早期把握し、介護予防活動等へ繋ぐことで、要介護状態に陥ることを防ぐことを目的としています。民生委員や健康福祉委員会等から聞き取った情報をもとに訪問し、必要に応じ、他機関や制度等へのつなぎを行っていました。あつたか等の集いの場や包括等の専門機関につなぐことで、閉じこもりがちな高齢者の社会参加や介護予防、重度化防止に寄与していると考えます。

月1回の閉じこもり報告会では高齢者支援課・地域包括支援センター・あつたかふれあいセンターと支援内容の検討等を行い、多職種多機関との連携をはかることで、対象者により適した支援を提供することができています。

項目	平成29年度	平成30年度	項目	令和元年度
個別訪問件数	355	387	個別訪問件数	224
うち新規件数	110	77	うち新規件数	67
うち終了件数	103	55	うち終了件数	73
他機関への繋ぎ等件数	43	18	継続訪問者翌年度繰り越し数	4
事業説明・聞き取り等訪問件数	53	35	住民情報聞き取り地区数	21
定期閉じこもり報告会等(回)	12	12	定期閉じこもり報告会等(回)	12
個別ケース検討会(回)	5	19	個別ケース検討会(回)	5
緊急通報装置撤去作業件数	10		その他会議・研修参加	16

③在宅福祉サービスの充実

まちなかサロン(社会福祉事業サービス区分)

〈他業務と兼務 職員1名 パート職員4名〉

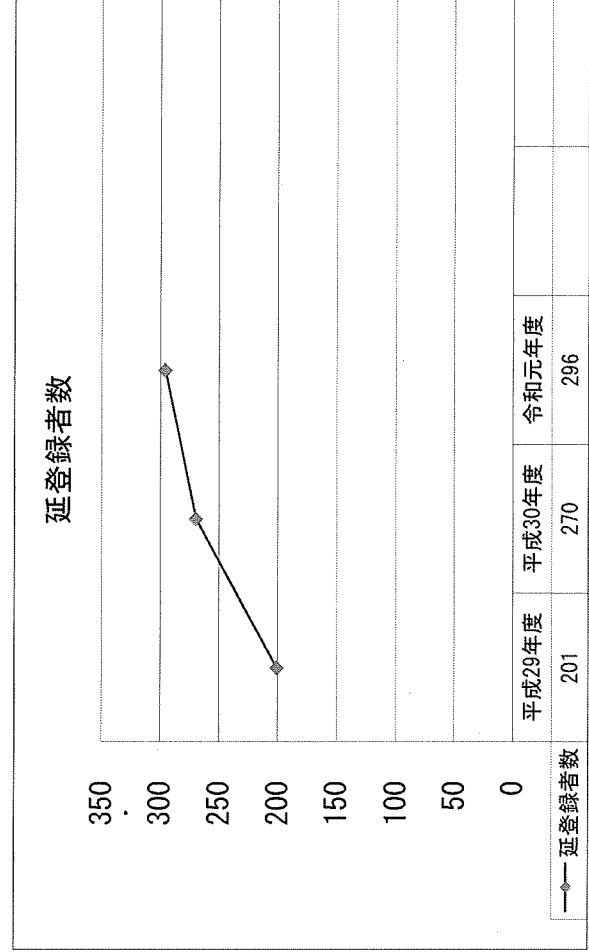
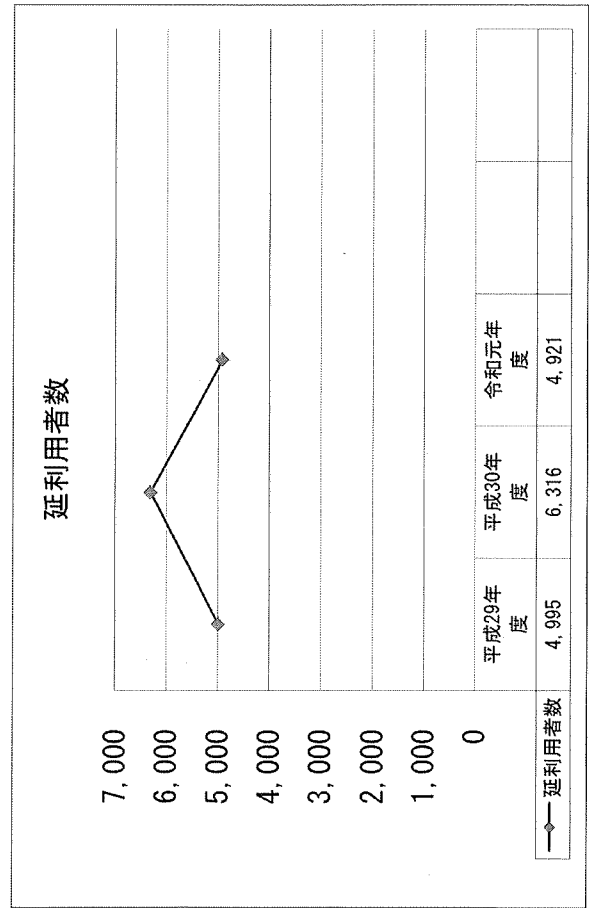
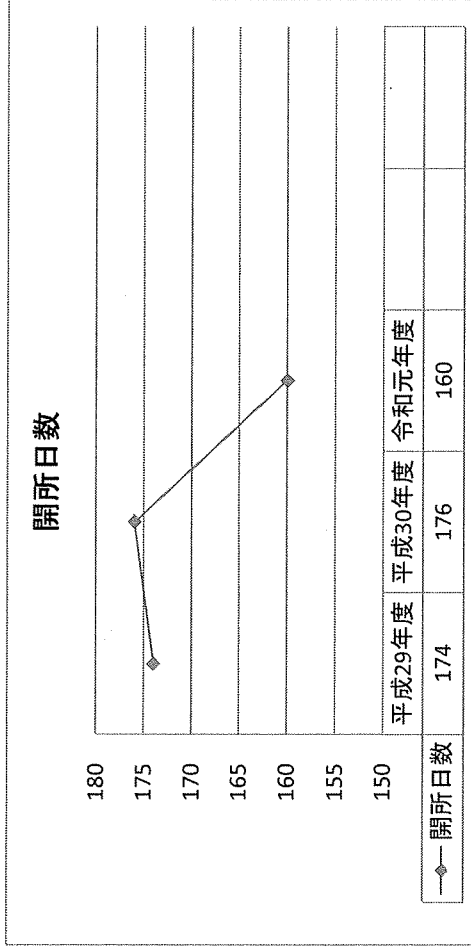
《 市受託金 3,978,827円 利用料収入 473,200円 サービス区分間繰入金 289,000円決算額 4,741,027円 》

65歳以上の高齢者を対象に、自主的な介護予防、生きがいづくりの推進を目的に、いつでも気軽に誰もが自由に出入りできる集いの場となっておりま。

水曜日を除く平日に、介護予防体操を中心に趣味の創作活動、カラオケ、卓球、踊りなど自由に過ごしていますが、利用目的としては、介護予防体操を挙げる方が多いようです。

また、ボランティアや利用者のリクエストで、お茶会、うたごえサロン、俳句会等いろいろなイベントを開催しましたが、新規利用者の申請が少なく、来年度は市内量販店、病院等にチラシ配布・掲示等のPR活動に力を入れたいきます。

尚、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日からはサロン事業を中止しております。



④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

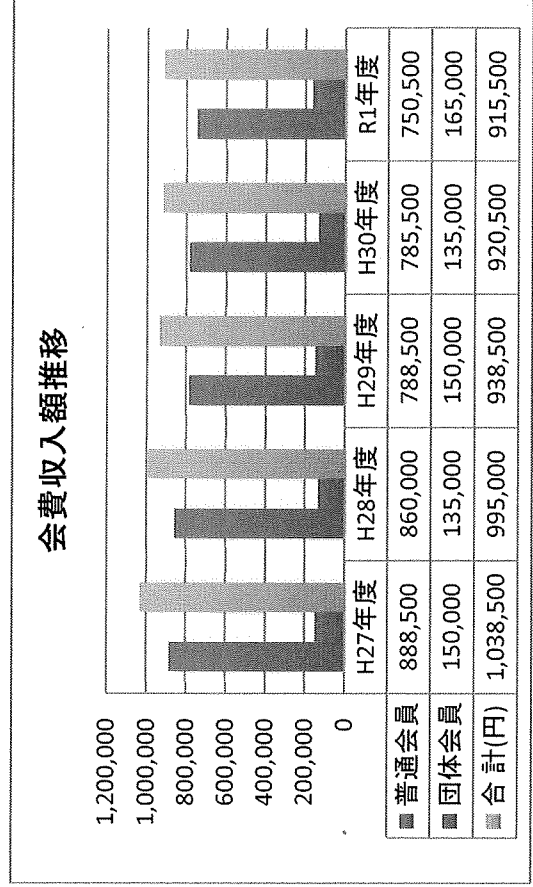
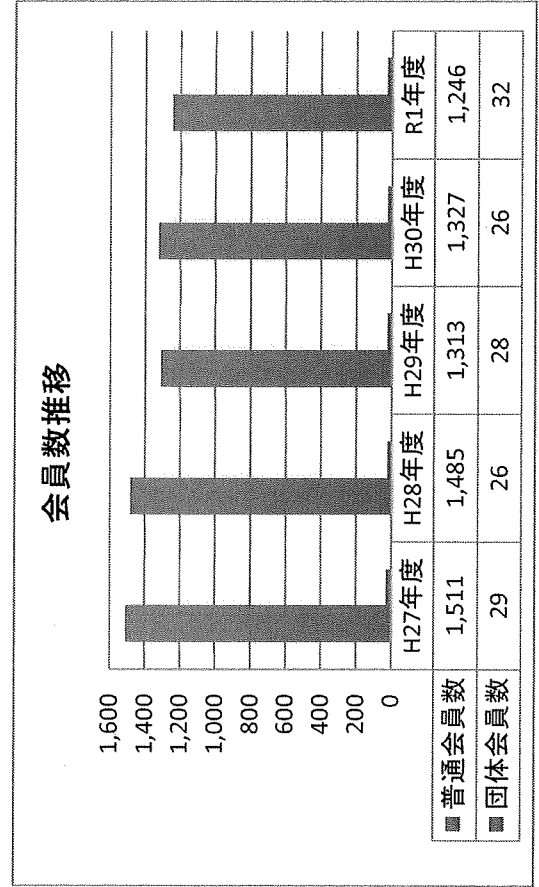
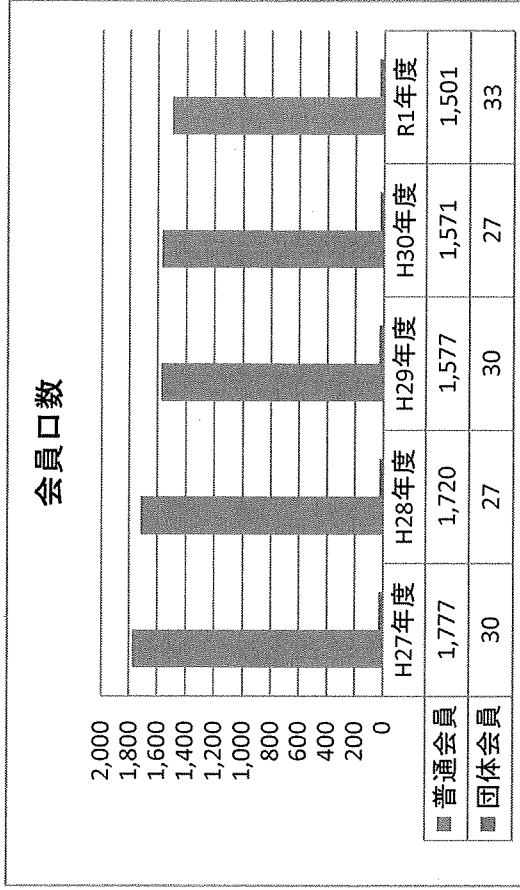
社協会員加入状況(法人運営サービス区分)

《 会費収入額 915,500円 》

民生委員をはじめボランティアや関係機関等へ協力を依頼し、また広報誌による呼びかけ等を行い会員の加入促進を行いました。

結果として前年度より普通会員数は減少しましたが、団体会員が増加したため会費収入は前年度とほぼ変わらない形となりました。

年々普通会員数が減少しており、社協会員の意義や経済状況が原因として考えられますが、解決策が見つからず、引き続き要検討していきます。



④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

社会福祉事業(法人運営サービス区分他)

事業経営方針・改正された定款に基づき、理事会、評議員会、各種運営委員会を開催しました。役員改選が6月に行われ新たな執行体制で理事会・評議員会を行っております。また、令和2年4月より新たな職員を増員するため、職員採用試験を行いました。

※以下が主な会議の状況となっております。

月	日	会議内容等	場 所
5	30	【平成30年度社協監査】会長・監事2名・事務局2名 計5名	福祉センター
7	7	【第1回理事会】理事7名・監事1名・事務局5名 計13名 ①平成30年度事業報告及び法人会計決算について ②評議員会の招集について ③苦情解決に関する第三者委員の選考について 報告事項 ①第2期地域福祉活動計画平成30年度報告について ②各種立金等の状況について ③社会福祉充実計画について ④地域包括支援センターについて	"
6	26	【第1回評議員会】評議員9名・理事2名・監事2名・事務局2名 計15名 ①平成30年度事業報告並びに法人会計決算について ②役員(理事・監事)の選任について 報告事項 ①第2期地域福祉活動計画平成30年度報告について ②社会福祉充実計画について	"
26	26	【第2回理事会】理事8名・監事2名・事務局2名 計12名 報告事項 ①会長・副会長の選定について ②今年度の理事会等の日程について ③地域包括支援センターについて	"
7	11	【社会福祉センター等運営委員会】委員6名・理事1名・事務局2名 計9名 ①運営委員長・副委員長の互選について ②使用料金の改定について ③空調(エアコン)の使用期間について ④使用申込に関する運用について ⑤相談室の貸出について 報告事項 ①平成30年度社会福祉センターの利用状況について ②平成30年度多目的アイ・ケアセンターの利用状況について ③平成30年度総合福祉センターの利用状況について	"
8	28	【小口生活資金貸付事業第1回運営委員会】委員4名・事務局2名 計6名 ①委員長の互選について ②平成30年度の資金貸付状況等について ③令和2年度の貸付限度額の設定について	"
28	28	【成年後見事業運営委員会】委員5名・事務局2名 計7名 ①平成30年度報告及び現在の状況等について ②夜間・土日等緊急時の対応について	"

月	日	会議内容等	場 所
18	18	【配食サービス運営委員会】委員4名・事務局2名 計6名 ①平成30年度・令和元年度実績報告について ②事業運営状況について	多目的アイ・ケアセンター「一条の里」
9	20	【第3回理事会】理事9名・監事2名・事務局5名 計16名 協議事項 ①小口生活資金貸付事業原資の見直しについて 報告事項 ①職務の執行状況について ②職員の私有車の業務使用に関する規程の制定について ③社会福祉センター設置及び管理に関する規程の制定について ④第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について	福祉センター
11	15	【小口生活資金貸付事業第2回運営委員会】委員4名・事務局2名 計6名 ①事業実施要綱の改定について 報告事項 ①生活福祉資金貸付の動向について ②幡多地域社協の独自貸付事業について	"
12	13	【第4回理事会】理事8名・監事1名・事務局5名 計14名 報告事項 ①職務の執行状況について ②職員の給与に関する規程の一部改正について ③小口生活資金貸付事業実施要綱の一部改正について ④第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について ⑤次年度の各種事業について	"
3	16	【第5回理事会】理事8名・監事2名・事務局5名 計15名 ①令和元年度第1次補正予算の同意及び評議員会への提案の承認について ②定款の一部改正の同意及び評議員会への提案の承認について ③令和2年度事業計画及び法人会計予算の同意及び評議員会への提案の承認について 報告事項 ①職務の執行状況について ②職員の給与に関する規程の一部改正について	"
25	25	【第2回評議員会】評議員10名・理事1名・事務局2名 計13名 ①令和元年度第1次補正予算について ②定款の一部改正について ③令和2年度事業計画及び法人会計予算について	"
2/29	2/29	【職員採用試験】理事2名・監事1名・事務局2名 計5名 3/5 【職員採用試験選考審査会】理事2名・監事1名・事務局2名 計5名	"

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備 社会福祉事業(法人運営サービス区分他)

役職員等の資質向上のため、下記のとおり積極的に研修会等へ参加しております。また、職員会等を開催し、研修報告や課題等を出し合い情報共有に努めています。

月	日	研修等名称	市町村名	場所	参加者数
4	10	第1回チーフ会	四万十市	社会福祉センター	5
	18	認定調査員新規研修会	四万十市	幡多福祉保健所	3
5	8	幡多地域成年後見制度・日常生活自立支援事業調査研修会(4者会)	四万十市	市役所	2
	14	地域包括ケア基本研修	宿毛市	文教センター	3
	15	第2回チーフ会	四万十市	社会福祉センター	5
6	15	第1回職員会	四万十市	社会福祉センター	11
	17	第1回社会福祉協議会法人後見連絡会議	高知市	ふくし交流プラザ	2
7	3	第1回業務連絡会	四万十市	社会福祉センター	6
	15	やまやどり初級者研修・第7回通常総会	高知市	高知県立大学	1
8	18	無料職業紹介事業における令和元年度第1回業務連絡会	高知市	職員能力開発センター	2
	22~23	第10回市町村社協職員ブロック対抗交流運動会	高知市	博喜スポートセンター	4
9	2	四万十市人権ふれあい講座	四万十市	中央公民館	3
	2	高知県地域福祉支援計画策定委員会	高知市	ふくし交流プラザ	1
10	4	安全運転管理者等講習	宿毛市	JA高知はた宿毛支所	1
	4	第1回四万十市内社会福祉法人の「公益的取組み」に関する意見交換会(四社連)	四万十市	社会福祉センター	2
11	5~6	高知県都市社協会長連絡協議会	室戸市	保健福祉センター	3
	9	第3回チーフ会	四万十市	社会福祉センター	5
12	10	第2回職員会	四万十市	社会福祉センター	11
	12	高齢者疑似体験インストラクターースキルアップ研修	高知市	ちばさんセンター	2
1	12~14	第1回ふくし総合フェア	高知市	ちばさんセンター	3
	25	第1回臨時チーフ会	四万十市	社会福祉センター	5
2	27~28	第17回四国地域福祉実践セミナー	徳島市	四国大学	1
	1	生活支援コーディネーターースキルアップ研修	高知市	ふくし交流プラザ	2
3	6	4者会	四万十市	中央公民館	2

月	日	研修等名称	市町村名	場所	参加者数
8	8	高知県市町村社協連絡会第1回フレッシュ部会	高知市	ふくし交流プラザ	1
	13	ブロック別社協会長等意見交換会	四万十市	社会福祉センター	3
9	14	第4回チーフ会	四万十市	社会福祉センター	5
	22	生活福祉資金貸付制度説明会	四万十市	社会福祉センター	3
10	24~25	救急員基礎講習	四万十市	防災センター	5
	1	救急員養成講習会	四万十市	防災センター	5
11	9	高知県地域福祉支援計画策定委員会	高知市	ふくし交流プラザ	1
	11	第3回職員会	四万十市	社会福祉センター	12
12	12	第2回業務連絡会	四万十市	社会福祉センター	6
	26	第2回四社連	四万十市	社会福祉センター	2
1	28	認定調査員現任研修	高知市	ふくし交流プラザ	1
	2	成年後見制度利用促進セミナー	高知市	ふくし交流プラザ	1
2	2	幡多ライフサポーター研修会	四万十市	幡多ライフサポーターセンター	1
	4	無料職業紹介事業における令和元年度第2回業務連絡会	高知市	ふくし交流プラザ	2
3	5	第2回市民救助隊養成研修	四万十市	防災センター	2
	9	第5回チーフ会	四万十市	社会福祉センター	5
4	10	教育支援資金の取扱い等説明会	高知市	ふくし交流プラザ	1
	11	高知県市町村社協連絡会第1回総務・会計部会	高知市	ふくし交流プラザ	1
5	17~18	四国ブロック福祉人材センター研修協議会	高知市	ふくし交流プラザ	2
	18	高知県市町村社協連絡会第1回事務局長・次長等部会	高知市	ふくし交流プラザ	1
6	21	日常生活自立支援事業専門員連絡会	四万十市	社会福祉センター	2
	23~24	社協職員のための住民に伝えるチカラ研修会	高知市	ふくし交流プラザ	1
7	28	高知県市町村社協連絡会第1回地域福祉部会	高知市	ふくし交流プラザ	1
	5	4者会	四万十市	中央公民館	2

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

月	日	研修等名称	市町村名 場所	参加者数
11	13	第6回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
	13	第4回職員会	四万十市 社会福祉センター	12
	15	地域の見守り支えあいの仕組みづくり研修会	四万十市 健康管理センター	1
	16	福祉避難所運営訓練	四万十市 夢の丘	1
	20	第70回高知社会福祉大会	高知市 ぶくし交流プラザ	2
	22	成年後見制度関係機関との連絡協議会	高知市 高知家庭裁判所	1
	29	第1回成年後見制度利用促進基本計画に関する協議	四万十市 市役所	1
	5	第3回業務連絡会	四万十市 社会福祉センター	6
	7	救急員フォローアップ講習会	四万十市 防災センター	5
	7	介護支援専門員更新研修(10/6～)	高知市 ぶくし交流プラザ	2
	17	第2回成年後見制度利用促進基本計画に関する協議	四万十市 市役所	1
12	8	日常生活自立支援事業生活支援員研修会	黒潮町 保健福祉センター	1
	9	第2回生活支援体制整備推進研修	高知市 ぶくし交流プラザ	2
	15	第7回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
	15	第5回職員会	四万十市 社会福祉センター	12
	22	高知市町村社協連絡会第2回総務・会計部会	高知市 ぶくし交流プラザ	1
	24	第3回四社連	四万十市 社会福祉センター	3
	25	災害ボランティアセンター運営基礎研修2	四万十市 社会福祉センター	11
	30	災害ボランティアセンター中核スタッフ研修会	高知市 ぶくし交流プラザ	1

月	日	研修等名称	市町村名 場所	参加者数
2	3	高知市町村社協連絡会第2回事務局長・次長等部会	高知市 ぶくし交流プラザ	1
	4	4者会	四万十市 武道館	2
	7	市町村社協監事研修会	高知市 ぶくし交流プラザ	3
	8	第2回ぶくし就職フェア	高知市 文化プラザ	1
	8	認知症講演会	四万十市 JA高知はた	1
	12	第8回チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
	13	地域福祉活動計画推進研修会	高知市 ぶくし交流プラザ	2
	14	高知県地域福祉支援計画策定委員会	高知市 ぶくし交流プラザ	1
	14	高知市町村社協連絡会第2回フレッシュ部会	高知市 ぶくし交流プラザ	1
	15	ひきこもりに関する普及啓発講演会	高知市 高知会館	1
	15	幡多地区区社協職員研修会	大月町 農村環境改善センター	8
3	18	社会福祉法人公益的な取組み推進フォーラム	高知市 ぶくし交流プラザ	1
	27	日常生活自立支援事業専門員研修会	高知市 高知城ホール	1
	2	第2回臨時チーフ会	四万十市 社会福祉センター	5
	10	第4回業務連絡会	四万十市 社会福祉センター	6
	11	第6回職員会	四万十市 社会福祉センター	12
	23	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等特別貸付の実施に関する説明会	四万十町 農村環境改善センター	1

延参加者数 276

その他、担当者会や報告会、ケース検討会など、会議や各種団体の定例会などに多く出席しています。

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

指定管理者施設運営事業(指定管理者施設サービス区分)

令和元年度 多目的デイケアセンター「一条の里」

《市受託金収入(指定管理料)1,826,047円 決算額 1,826,047円》 《正職員1名兼務》

多目的デイケアセンター「一条の里」で行っている事業については、次のとおりで各実績については前述のとおりです。

- ① 配食サービス事業
- ② まちなかサロン事業
- ③ はつらつデイサービス事業
- ④ 障害者支援センター事業(相談支援事業)

令和元年度 四万十市総合福祉センター

《市受託金収入(指定管理料)決算額 709,755円》 《正職員1名兼務》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議研修室	6	5	6	10	12	6	4	4	7	9	8	5	82
福祉関係事務室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
応接室・相談室	1	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7
休憩室	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
合計	7	8	8	10	12	7	4	4	7	10	9	5	91

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

公益事業（福祉センター管理運営サービス区分）

令和元年度 社会福祉センター利用状況

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小計			利用 合計	貸出 可能 数	利用割合				H30年度利用割合				空室 割合									
	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除			普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額		免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額
4	2	1	7	1	17	1	8	2	14		3	2	16		9	2	38	4	40	6	88	30	450	8.4%	0.9%	8.9%	1.3%	19.6%	6.4%	0.7%	9.1%	2.7%	18.9%	80.4%	81.1%			
5		1	6	1	14		8	3	18	1	10	6	1	5	2	43	1	26	8	78	31	465	9.2%	0.2%	5.6%	1.7%	16.6%	7.1%	0.2%	6.7%	6.5%	20.4%	83.2%	79.6%				
6	3	2	1	10	17	1	10	4	17	1	2	4	10	6	5	39	7	27	30	103	30	450	8.7%	1.6%	6.0%	6.7%	22.9%	9.3%	0.4%	6.0%	4.2%	20.0%	77.1%	80.0%				
7	2		6	2	20	1	8	6	20	2	1	11	12	5	6	47	4	30	28	109	31	465	10.1%	0.9%	6.5%	6.0%	23.4%	4.9%	0.4%	6.7%	6.2%	18.3%	76.6%	81.7%				
8	4	4	1	1	16	1	6	1	16	2	1	8		2	2	37	9	18	10	74	31	465	8.0%	1.9%	3.9%	2.2%	15.9%	6.5%	1.1%	4.7%	3.2%	15.5%	84.1%	84.5%				
9	2		3	1	26	7	2	23	2	3	10	3		4	14	52	3	24	22	101	30	450	11.6%	0.7%	5.3%	4.9%	22.4%	7.8%	0.9%	4.9%	2.7%	16.2%	77.6%	83.8%				
10	3	2	3	2	15	1	10	4	27	3	4	12	5	1	5	50	4	30	27	111	31	465	10.8%	0.9%	6.5%	5.8%	23.9%	10.3%	0.2%	7.3%	5.6%	23.4%	76.1%	76.6%				
11	11	9	1	3	16	2	5	5	27	8	6	9	7	2	3	62	16	20	134	30	450	13.8%	8.0%	3.6%	4.4%	29.8%	12.0%	7.6%	7.1%	4.2%	30.9%	70.2%	69.1%					
12	1		6	2	20	2	9	1	22	4	1	12		9	5	44	6	37	9	96	28	420	10.5%	1.4%	8.8%	2.1%	22.9%	8.1%	1.7%	6.9%	4.8%	21.4%	77.1%	78.6%				
1	7		8		22	5	4	50	1	19	6	4		2	10	105	2	29	11	147	28	420	25.0%	0.5%	6.9%	2.6%	35.0%	7.9%		7.9%	3.6%	19.3%	65.0%	80.7%				
2	9	2	5	3	27	1	2	3	48	13	1	9	6	8	4	102	4	24	16	146	29	435	23.4%	0.9%	5.5%	3.7%	33.6%	9.0%	0.7%	6.9%	4.3%	21.0%	66.4%	79.0%				
3	3			10	11	7	7	27	1	6	1	6		6		49	1	19	11	80	31	465	10.5%	0.2%	4.1%	2.4%	17.2%	7.5%	0.2%	5.2%	1.7%	14.6%	82.8%	85.4%				
合計	47	21	47	36	221	10	85	35	309	14	4	16	66	21	113	39	25	15	71	72	668	360	5,400	12.4%	1.5%	5.9%	3.7%	23.5%	8.1%	1.2%	6.6%	4.1%	20.0%	76.5%	80.0%			

普通 教育、福祉関係の会議、組合会議、サークル活動(体操、踊り)、法律・就職相談、宗教団体、政治団体、観光協会

減額 市内の福祉団体、県社会福祉協議会、県聴覚障害者協会、介護福祉士会、社会福祉士会

免除 市、市教育委員会、市教育研究所、ボランティア、福祉関係サークル、行政相談、社協事業、団体事務等

営業 物品販売、営業会議、健康セミナー、民間資格養成講座、学校説明会・入学試験

④地域福祉活動計画の推進と組織の基盤整備

公益事業(福祉センター管理運営サービス区分)

令和元年度 社会福祉センター利用状況(免除)

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小計			合計
	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	
4	2		5	1		7			2	7	7				7	7	7	26	40
5		3	3	1		7		1		3	3		1		4	1	7	18	26
6	1			1	3	6		1		4	6				5	2	7	18	27
7	2		4	1	3	4			2	5	4		2		3	7	8	15	30
8			1	1		5		1		7	1				2	1	7	10	18
9			3		3	4				4	6				4	0	7	17	24
10	2		1	1	6	3			4	5	3		2		3	9	11	10	30
11			1	1		4				4	3		1		2	1	5	10	16
12	2		4	1	3	5		1	2	4	6		2		7	7	7	23	37
1	3		5	1		4				4	2		1		3	5	7	17	29
2	3		2	1		1			1	4	4				4	5	8	11	24
3					3	4				2	4				6	0	5	14	19
合計	15	3	29	10	21	54	0	0	4	11	49	9	9	9	53	45	86	189	320

市 教育委員会・教育研究所・行政相談
 団体 精神障害者家族会「虹の会」・朗読の会虹・中村手話サークルわかあゆ・認知症家族の会たんぽぽの会
 社協 社協事業・民協・日赤・共募・人材バンク・老人クラブ・身障連・ボランティア連絡協議会・社福公益的取組幡多ブロック・ボランティア勉強会

平成 31 年度 事業報告の付属明細書

令和 2 年 3 月 31 日

四万十市社会福祉協議会

1. 他の法人等の重要な兼職の状況

区 分	氏 名	兼職先	兼職の内容	関 係
理 事	大林 郁男	特記すべき兼職はない		
〃	中平 晋祐	特記すべき兼職はない		
〃	宮下 貞子	特記すべき兼職はない		
〃	宮村 和輝	特記すべき兼職はない		
〃	湯地 康夫	特記すべき兼職はない		
〃	上岡 敬	特記すべき兼職はない		
〃	安田 沙知	特記すべき兼職はない		
〃	佐伯 達雄	特記すべき兼職はない		
〃	横山恵美子	特記すべき兼職はない		
監 事	弘井 弘	特記すべき兼職はない		
〃	山本 い久	特記すべき兼職はない		

2. その他

- ・事業報告を補完すべき事項はありません
- ・この明細書は、四万十市社会福祉協議会定款第 39 条第 1 項第 2 号により添付しております